

単
元
名

グラフや表を用いて書こう

教科書出版社名（光村図書・東京書籍）

○ 小学校（ 5 ）年 教科等（ 国語・算数 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

- ・引用したり、表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論のすすめ方について考えたりすることができる。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

- ・情報と情報との関連づけの仕方、図などで語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。

○ 学校図書館等活用のポイント

- ・学校図書館の利用推進を学習課題に設定し、データの考察を通して、根拠をもとに自分の意見をもつ。

○ 学習の展開（全9時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次 国語	「問い」を持つ ・説明文「固有種が教えてくれること」の題名から考えたい問いをつくり、学習の方向性をもたせる。 ・三部構成に分ける。
第2次 国語	「問い」の解決を図る ・図表やグラフ、写真と文章を対応させる。 ・筆者の意図を読む。 ・要旨をまとめる。
第3次（☆） 算数・国語	表現に活かす ・統計資料の読み方をふりかえる。 ・「学校図書館をより使いたい場所にするにはどうしたらいいか」について意見文を書く。

(本時 7 / 9 時)

☆学校図書館等活用 (本時) の学習

本時のねらい ・「みんなの学校図書館づくり」について資料を分析して自分の意見を持つことができる。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 今日の問題をつかむ。 2. めあてと予定を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">意見文を書くために、自分の考えをもつ</div> ・意見文のテーマ、「学校図書館をより利用したくなる場所にするためにはどうしたらいいか」を知る。	・単元のつながりを意識できるように、説明文の学習をふりかえる。
35	3. 学校図書館についてのデータを読む。 ・自校の図書館について知る。 ・過去 4 年間の全児童の貸し出し冊数を表した棒グラフを提示し、読み取れることをノートに書く。 ・読み取った内容を共有する。 ・他校と比較する。 ・他校の過去 4 年間の同データを提示し、読み取れることや、自校と比較して気づいたことを共有する。 ・冊数だけでは比べられないことに気づき、どんなデータが必要か考える。 ・過去 4 年間の自校と他校の児童数を表した表を提示し、比べる。 ・班での意見交流を行う。 4. 他校と比べてみて、学校図書館の取組みの違いについて、知りたいと思ったことを挙げる。	・棒グラフの読み取りの復習をする。 ・自校の数値だけでは、よく借りているのかどうか判断できないことから、他校のデータを提示する。 ・冊数だけで比べられないことに気づかせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">・学校司書へ質問し、学校図書館の取組みについての違いを知る。違いを考えるを通して、自分の意見をもつ事につながる。</div>
5	5. 学習をふりかえり、自分の意見を書く。	

図書館活用
ポイント